

北区では、防災力強化の取り組みを進めています。

～民間企業との連携を推進～

北区では、今年6月に暁交通株式会社と「災害時の輸送など安全で安心して暮らせるまちづくりを進める連携協定」を締結しました。昨年8月に締結した、北海道ココ・コーラボトリング株式会社との連携協定に続き2社目の



春原社長(左)と阿部北区長

締結となります。大規模災害発生時に、同社が人・物資の輸送(物資のみの輸送は除く)、被害情報の収集を行い、災害時の対応に協力します。

～パンフレットなどを配布してます～

災害への備えとして「さっぽろ防災ハンドブック」や「地震防災マップ」「洪水ハザードマップ」「避難所マップ」を区役所1階広聴係、各まちづくりセンターで配布しています。

また、地域で実施する防災訓練の相談や防災用品の貸し出しについては、下記にお問い合わせください。

【問い合わせ】
総務企画課地域安全担当係
☎ 757-2403

学生パワーで「防災マップ」

～幌北連合町内会～



左から Neolos 幌北の秋村さん、猪野さん、布谷さん
連合町内会の永野さん、高橋さん、五十嵐さん

北海道大学や藤女子大などの学生が多く住む幌北地区では、地域の大学生らを中心に、幌北連合町内会の学生部として活動する「学生と地域で考えるまちづくり会(通称 Neolos 幌北、布谷睦代表)」と同連合町内会(永野拓也会長)が、東日本大震災をきっかけに、地域の防災力の強化を図る取り組みを始めました。

昨年2月に実施した冬季防災訓練での経験から、飲み水の確保や避難所の位置を地域住民で共有することが大切と『幌北防災通信』を発行。また、今年3月には『幌北地区防災マップ』を作成し、町内会などに配布しました。

作成に携わった布谷さんは「東日本大震災当時は東北に住んでいたのですが、防災には関心がありました。地区内を実際に歩いて回り、避難場所などを確認しました」と話してくれました。

同連合町内会防災部長の高橋孝行さんは「学生の視点だからこそできることもあります。これからも学生とともに地域防災を考えていきたいですね」と話していました。

『幌北地区防災マップ』(下)と『幌北防災通信』(右)

